

手をつなぐ親と子



令和4年3月 発行:登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No7

～入学を前にして～

新型コロナウイルスの感染防止に取り組み、小・中学校にも様々な影響が出るようになって3年目に入りました。そのような中で小学校や中学校への入学を控えた子どもたちや保護者の皆様には様々な不安をおもちのことと存じます。



いろいろな不安がありますね…

① 登下校の交通や不審者への不安

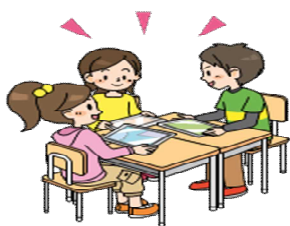
特に新たに小学校に入学するお子さんにとっては大きな不安でしょう。でも、子どもは思ったよりたくましく、学校でも徐々に慣らしていく工夫もしています。見守り登下校などの地域ボランティアも盛んにおこなわれていますのでご安心ください。

できれば登下校の道を間違えないように練習しておくとうれしいですね。

② 勉強についての不安

「うちの子、ちゃんと勉強できるかしら」とか「きちんとついていけるかなあ」と心配の保護者の方も多いと思います。日々の勉強やいずれやってくる受験にと不安も大きいと思います。しかし、走るのが得意な子、算数が得意な子、料理の得意な子、絵をかくの好きな子とみんなそれぞれ個性があります。テストは100点でなくてはいけないとか、クラスで何位とかにとらわれていると親も子も息苦しくなります。

大切なのは、必要な時に自分から勉強に向かうことができる基礎と気持ちです。目標ができるとうれしく子どもは伸びるものです。人と比べることなくお子さんの良いところを時間をかけて伸ばしてあげてほしいと思います。



③ 携帯スマホに関する不安

子どもの世界でも携帯・スマートフォンや各種機器によってさまざまな問題が起きています。見て欲しくないサイトや危険なサイトにつながることで、SNSを通じた人間関係のトラブルなど心配の種は尽きません。

ただ、これらの危険から子どもを守ることができるのは、家庭、つまり保護者の皆さんだけであることをご理解ください。



登別市「携帯スマホ3つのルール」を守りましょう！

- ①使用時間 小学校3・4年生は一日1時間以内、小学校5・6年生や中学生は一日2時間以内
- ②使用時刻 小学校3・4年生は夜7時、小学校5・6年生は夜8時、中学生は夜9時まで。
それ以降は自分の部屋に持ち込ませないようにする。
- ③フィルタリング 携帯電話やスマートフォンなどには、フィルタリングをかける。

最初は大人のを借りて使っていたものが、やがて自分専用のものを使うようになると危険が大きくなります。子どもはまだまだ未熟ですし、好奇心も旺盛です。大人の目の届かない世界にあっては、親に知られたくないものや危険なサイトにつなげてみたくなるのも子どもです。

また、LINEなどのSNSで遊び半分だと思っていたことがいじめに繋がってしまっているということもあり得ます。

これらは全て、そのような環境の中に子どもを置いて、目を離して後のフォローを怠った保護者の責任といえます。何か起きた時、加害者になるのも被害者になるのも与えた保護者の責任です。子どもが何を見て、何を発信しているのかを、確認することができるのは保護者だけなので、ぜひ、十分な覚悟をもって使わせてほしいと思います。

保護者として…

①正しく愛情をかけて

子どもが喜ぶ顔を見たいのは人情です。でも、子どもの健やかな成長のためには、ときに厳しいことや嫌がられることにもだめなものだめ、という毅然とした親の姿勢を見せることが必要です。

子どもの顔色をうかがうことは決して子どものためになりませんね。

②一緒に泣き笑い、感動を共有して

子育てに近道はありません。しっかりと子どもを見つめ、親子の時間を大切にして、一緒に喜んだり悲しんだり感動を共有することが大切です。過ぎてしまえばあっという間の年月です。子育てを十分に楽しんでください。

③弁当の日は喜んで

何かの都合で給食がなく、お弁当を持っていくとき、決して「めんどうだ」というような愚痴はこぼさないでください。冗談であっても子どもは悲しい気持ちになります。たまの弁当、腕まくりをして笑顔で作ってあげてください。子どもは大喜びしますよ。

